

地域医療連携室

フレンディーだより

Community medicine cooperation room



第24回メーコン・黒部医療交流（7月5日～16日）



2010

vol.35

H22.8 発行

黒部市民病院 黒部市三日市1108-1

E-mail : friendly@med.kurobe.toyama.jp

新川厚生センターに 就任して



新川厚生センター所長 横川 博

4月に新川厚生センター所長として赴任しました横川です。最初から私事で申し訳ないのですが、私は新川地域で仕事をさせていただくのは3回目になります。最初は、昭和の時代に黒部市民病院で2年間内科医として勤務しております。2度目はこれも少し古い話ですが、魚津保健所（現在は新川厚生センター魚津支所）の所長として4年間、そして今回が3回目ということになります。今回着任して、ご挨拶に回ったり、仕事で顔を合わせたりする中で、人とのつながりというのは本当にありがたいもので、昔一緒に仕事をしたことがある方にお会いするとほっとしたり、まだ覚えていてくださる方がいらっしゃることに感激したりしております。

さて、話は変わりますが、去年は新型インフルエンザが大流行して各方面でも対応に追われ大変ご苦労されたと思います。いろいろな課題や問題が続出する事態となりましたが、そんな中でも乗り越えることができたのも、地域の医師会や病院等の医療機関をはじめとする関係各機関が連携、協力して対応していただいたおかげであると考えています。新川医療圏では従前から医療・保健・福祉の分野でいろいろな形での連携が進んでおり、そういった土壌があることが突発的な健康危機に対しても適切な対応ができることにつながったのだと思います。

厚生センターは今後とも各種の健康危機管理への対応や地域の方々の健康増進、保健・福祉の向上に努めていきたいと思っております。そのために、地域の方々の声を聞き、関係する皆様方のご指導、ご協力をいただきながら事業を進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

脳血管内治療

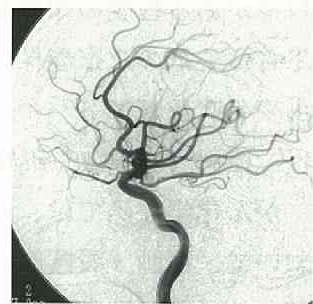
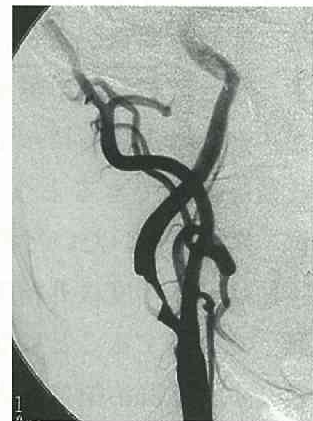


脳神経外科部長 山本 博道

脳血管内治療は、開頭せず経皮的にカテーテルを使って行う治療で、脳動脈瘤に対する塞栓術、頸動脈狭窄症に対するステント留置術、その他脳腫瘍、脳動静脈奇形や硬膜動静脈瘻に対する治療が主なものです。

〈脳動脈瘤塞栓術〉

脳動脈瘤塞栓術は、動脈瘤の中にプラチナのコイルをつめて再破裂を予防する手段で、破裂の場合は全身麻酔ですが、未破裂の場合は局所麻酔で施行できるというメリットがあります。手術と違って、頭に傷は残らず、頭の皮膚の麻痺した感じや、術後しばらくたってから骨のでこぼこが目立つことに悩む必要もありません。反面、挿入したコイルがつぶれたりしないか、約2年くらい単純X線写真等で経過を見る必要があります（MRIも全く問題ありません）。動脈硬化や瘤の形で、血管内治療ができない症例もありますが、できない場合は開頭手術に回すという方針でも治療計画を立てられるため、特に未破裂の脳動脈瘤治療にはオプションとして有用な治療法と思われれます。



〈頸動脈ステント留置術〉

頸動脈ステント留置術は、最近保険適応となり、ステントも頸動脈専用のものがでてきており、病状に即した治療ができるようになってきております。CEA：頸動脈内膜剥離術という確立された手術がありますが、その手術が危険な人（頸部の放射線治療後やCEA後の再狭窄、ご高齢等）に特に有用性が高い治療法です。冠動脈のステントのように頸動脈にステントを挿入するものですが、急性閉塞例ではまだ結果が悪く、高度狭窄例にのみ行っています。ソケイ部からの治療が困難な場合は、条件が揃えば肘からも施行可能です。

現在、学会認定の指導医が富山県に2名おられ、病状を相談しながら応援に来ていただき、事故の無いように治療を行っております。

最新の最適な医療をいち早く供給し、地域医療に貢献できるよう頑張っています。

がん化学療法看護認定 看護師としての抱負



がん化学療法看護認定看護師 佐々木良子

私は、昨年、がん化学療法看護認定看護師の資格を取得しました。がん化学療法看護認定看護師を目指したきっかけは、抗がん剤治療を受けている患者様の不安に対して、身近に寄り添える存在として少しでも関わりを持ちたいという思いからでした。

認定看護師として、がん化学療法により起こるさまざまな問題（抗がん剤の副作用やその対処方法、治療に伴う不安や日常生活上での心配事など）について、患者様と共に問題を明らかにし、適切なケアやアドバイスの提供を充実させたいと思っています。また、がん化学療法看護では、用いられる薬物の特性、投与管理、副作用対策など、安全に責任を持って行わなければいけません。看護師の化学療法に対する知識・技術を向上できるよう、スタッフからの疑問や問題点をもとに勉強会を開催し、教育・指導を行いたいと考えています。

私は、昨年度は外科病棟で勤務しており、今年度から、通院治療室（外来化学療法室）で勤務することになりました。診療報酬の改定により、通院治療は年々増加しています。通院治療は、入院治療と違い、自宅に帰ってから副作用がでるため、患者様自身がある程度の知識を持つ必要があります。そのためには、がん化学療法を受ける患者様やそのご家族様の不安を和らげ、安全に治療が受けられるように適切な情報提供やケア及びアドバイスを行わなければいけません。私は、適切な支援ができるように、積極的に学会や研修会に参加して日々勉強しなければいけないと思っています。

がん化学療法では、その治療方針決定から治療、副作用対策にわたる全ての状況において、医師・看護師・薬剤師等チームでの関わりが必要となります。私は、チームが有効に働き患者様のサポートができるよう努めたいと思っています。

認定看護師としてどれだけできるのかという不安も大きいですが、少しでも前に進めるよう自己研鑽したいと思っています。ご意見、ご指導を賜りますよう、宜しくお願い致します。

診療科紹介

地域医療支援センター



川田師長（前列左）とスタッフ一同
4月から前任辻京子師長にかわり川田佳代子師長が
着任しました。今後とも、宜しくお願い致します。

地域医療支援センターは、退院後の療養生活を不安なく送ることができるよう、さまざまな立場から支援します。

●地域医療連携室（フレンディー）

地域の開業医や病院との架橋となって患者様が満足できる医療が受けられるようにお手伝いします。

入院予約・オープンベッド…かかりつけ医の紹介により入院することができます。

CT・MRI等の検査予約

……かかりつけ医の紹介により検査の予約ができます。（受付時間8：30～17：00）

外来受診予約…かかりつけ医の紹介により外来受診予約ができます。（受付時間8：30～17：00）

退院・転院相談

……退院の準備をどうしたらよいか、また在宅介護が困難な方の相談に対応します。

かかりつけ医紹介…家の近くで通院したい、また往診してほしい場合にかかりつけ医を紹介します。

病院・施設からの入院予約

……院内の医師・各部署の連携をとり、スムーズに入院できるようにします。

●地域医療保健室

訪問看護

対象者：主に医療器具を装着したまま退院となられる方、病状が不安定で全身状態の悪い方、難病の方、終末医療の方が安心して在宅生活を送れるよう支援致します。

扱う医療処置としては

- ・褥瘡処置
- ・生活リハビリ
- ・胃瘻や経管栄養の管理
- ・中心静脈栄養の管理
- ・膀胱瘻や尿管カテーテル管理
- ・在宅酸素療法や人工呼吸器装着患者の管理

●黒部市民病院在宅介護支援センター

介護が必要になったら

要介護者及び、その家族の方から依頼があれば…

1. 介護認定の申請代行
2. 介護サービスの紹介
3. 介護計画の作成
4. 介護計画の実行・調整・モニタリング を行います。

地域住民の高齢者、障害者、介護者の方に対して介護予防生活支援・家族介護支援を行います。

- ・介護相談
- ・福祉サービスの説明、手続き代行
- ・介護用品の案内と展示

米国看護師・指導医来院

1. 米国看護師来院（第1回）

6月14日(月)～23日(水)

中央ジョージア医療センターより、看護師2名（ヴィッキー・ポーガンさん、スーザン・ブラウマンさん）が来院されました。

地域医療支援センターの研修では、訪問看護の現状を実際に訪問し、体験されました。



2. 米国指導医来院（第24回）

7月5日(月)～16日(金)

第24回メーコン・黒部医療交流として、米国指導医リトゥA.クマール先生（専門：感染症内科）が来院されました。〈表紙：写真〉

講演・勉強会のご案内

1. 新川胸部疾患検討会

日時：毎月第2木曜日
午後6：30～
午後8：00
場所：本館3階 指導室

2. オープンベッドカンファレンス

日時：偶数月の第2水曜日
午後6：45～
午後7：45
場所：本館3階 指導室

3. 内科カンファレンス

日時：毎週火曜日
午後6：40～
場所：本館3階 指導室